

書籍	方剂名	効能	生薬組成
	主治および証		病機 方意
<b>祛湿剂 芳香化湿剂 4</b>			
かつこうしょうきさん 藿香正気散	解表化湿・理気和中		藿香 90g・紫蘇・白芷・大腹皮・茯苓各 30g・半夏麴・白朮・陳皮・厚朴・桔梗各 60g・炙甘草 75g 細末にし1回6gを生姜・大棗の煎湯で服用する。1/5～1/10 量の水煎し服用してもよい。
和剂局方	<p>&lt;主治&gt; 外感風寒、内傷湿滯 発熱、悪寒、頭が重い、頭痛、身体が重だるい、胸苦しい、腹満、腹痛、悪心、嘔吐、下痢、舌苔は白膩、脈は濡などを呈す。</p> <p>&lt;病機&gt; 外感風寒、内傷湿滯による霍乱吐瀉である。湿気が多い時期に冷えたり、暑熱の時期に生冷物を摂取した上に納涼して、風寒湿邪を感受するか、あるいは脾虚湿滯のものが風寒の侵襲を受けることにより、発症することが多い。 外邪により衛陽が鬱阻されて悪寒、発熱、頭痛が生じ、湿邪が肌表にも停滞するために頭が重く身体が重だるい。湿邪が気機を困阻するので胸苦しい、腹満、腹痛などが強く、湿濁が脾胃の昇降を失調させるために悪心、嘔吐、下痢が発生し、突然に吐瀉があらわれるのが特徴の一つである（霍乱吐瀉）。舌苔が白膩は湿滯を示す。脈が浮は外感を示し、湿滯のために脈が細弱になり、濡脈（浮、細、無力）を呈する。</p> <p>&lt;方意&gt; 外散風寒、内化湿濁の和中理気を兼ねた霍乱吐瀉の常用方である。 主薬は藿香で大量に用い、辛散により風寒を除き、芳香化濁により湿濁を化し、醒脾和中にも働く。辛温芳香の紫蘇・白芷は、肺気を宣暢して風寒を除き表湿を疏通し、藿香を補助する。辛温の半夏麴・陳皮は燥湿和胃、降逆止嘔に、苦温の厚朴・大腹皮は行気化湿、除満に働き、辛開苦降によって燥湿を強める。健脾滲湿の白朮・茯苓は和中止瀉に、生姜・大棗・炙甘草は調和脾胃と諸薬の調和に働く。桔梗は、宣肺利隔、載薬上行すると共に、開肺气により水道を通利する。全体で風寒外散、湿濁内化、昇清降濁、気機通暢の効果が得られる。</p> <p>&lt;参考&gt; 本方（藿香正気散）は 解表により化湿和中に重点があり、湿滯脾胃が主体で嘔吐、下痢、腹満、舌苔が白膩を呈する場合に適する。とくに夏期の寒湿に有用である。 本方（藿香正気散）は、山嵐瘴癘（熱滯の湖沼などから発する有毒ガス、マラリアなど）、水土不服（新たな環境に対する不適応、いわゆる「水が合わない」）による吐瀉にも使用される。ガス中毒やその後遺症にも有効である。 &lt;温病条弁&gt;では、本方（藿香正気散）の加減を湿阻中焦に適用し、五つの加減正気散を提示している。これらの五つの加減正気散は、藿香正気散から辛温発散の紫蘇・白芷・生姜と宣肺の桔梗、および甘補壅滯の白朮・大棗・甘草を除いた上、藿香梗・厚朴・陳皮・茯苓皮を基本にして芳香化濁、理気化湿の方剂に改めている。 一、二、三加減正気散は、湿熱（湿が熱より重い）による脾胃の障害に、四、五加減正気散は、脾胃の寒湿による障害にそれぞれ適している。</p>		
いちかげんしょうきさん 一加減正気散	理気燥湿・化滯		藿香梗 6g・厚朴 6g・杏仁 6g・茯苓皮 6g・陳皮 3g・神麴 4.5g・麦芽 4.5g・茵陳 6g・大腹皮 3g 水煎し服用する。
温病条弁	湿阻中焦で影響が上・下焦にも及び、腹満、排便がすっきりしないなどの気滯（食滯）の症状が顕著で、昇降失調による悪心、嘔吐、下痢を伴うときに適する。 理気化湿の藿香梗・厚朴・陳皮・大腹皮、消導（消化を高める）醒脾の神麴・麦芽、滲利の茵陳・茯苓皮、降肺气、利大腸、通調水道の杏仁により、理気導滯、化湿する。茵陳は清熱にも働く。		
にかげんしょうきさん 二加減正気散	燥湿利水・宣通表裏		藿香梗 9g・厚朴 6g・茯苓皮 9g・陳皮 6g・木防已 9g・大豆黄卷 6g・通草 4.5g・薏苡仁 9g 水煎し服用する。
温病条弁	湿阻中焦の脘悶、便溏と同時に、湿阻経絡肌膚による身体の重だるい痛み、軽度の浮腫を伴うのが特徴である。脈象模糊も肌膚の湿滯によって生じる。 芳香化湿、理気の藿香梗・厚朴・陳皮、淡滲利湿の茯苓皮・通草・薏苡仁、除湿、疏通経絡の木防已、分利湿濁、清解表邪の豆卷により燥湿利水・宣通気機、疏通経絡の効果をあげ、表裏同治する。		
さんかげんしょうきさん 三加減正気散	祛湿泄熱		藿香梗 9g・厚朴 9g・杏仁 9g・茯苓皮 9g・陳皮 4.5g・滑石 15g 水煎し服用する。
温病条弁	湿濁が気機を阻滯して化熱し、湿熱により舌苔が黄膩を呈し、熱証がやや強いのが特徴である。 藿香梗・厚朴・陳皮は芳香化湿、理気に、滑石・茯苓皮は利水泄熱に、藿香梗・杏仁は宣肺透熱、通調水道に働き祛湿を主体にして泄熱する。		
しかげんしょうきさん 四加減正気散	化湿消滯・温脾		藿香梗 9g・厚朴 6g・茯苓 9g・陳皮 4.5g・草菓 3g・神麴 6g・山査子 15g 水煎し服用する。
温病条弁	寒湿により舌苔が白滑、脈が緩など、寒証を呈するのが特徴である。 芳香化湿、理気の藿香梗・厚朴・陳皮、利水健脾の茯苓、消導理気の山査子・神麴、更に辛温芳香の草菓を用い化湿消滯、温脾によって寒湿を除く。		
ごかげんしょうきさん 五加減正気散	燥湿利水		藿香梗 6g・厚朴 6g・茯苓 9g・陳皮 4.5g・大腹皮 4.5g・穀芽 3g・蒼朮 6g 水煎し服用する。
温病条弁	湿滯がつよくて、湿は冷やす性質により脾が冷えると共に機能が低下して泥状～水様便などを呈するのが特徴である。 藿香梗・厚朴・陳皮は芳香化湿、理気に、茯苓・大腹皮は利水に、苦温の蒼朮は燥湿に、穀芽は温脾消導（温めて消化を高める）に働き重点的に湿滯を除く。		